

「保全水準評価」から始まる 「計画保全体制再構築」のご提案

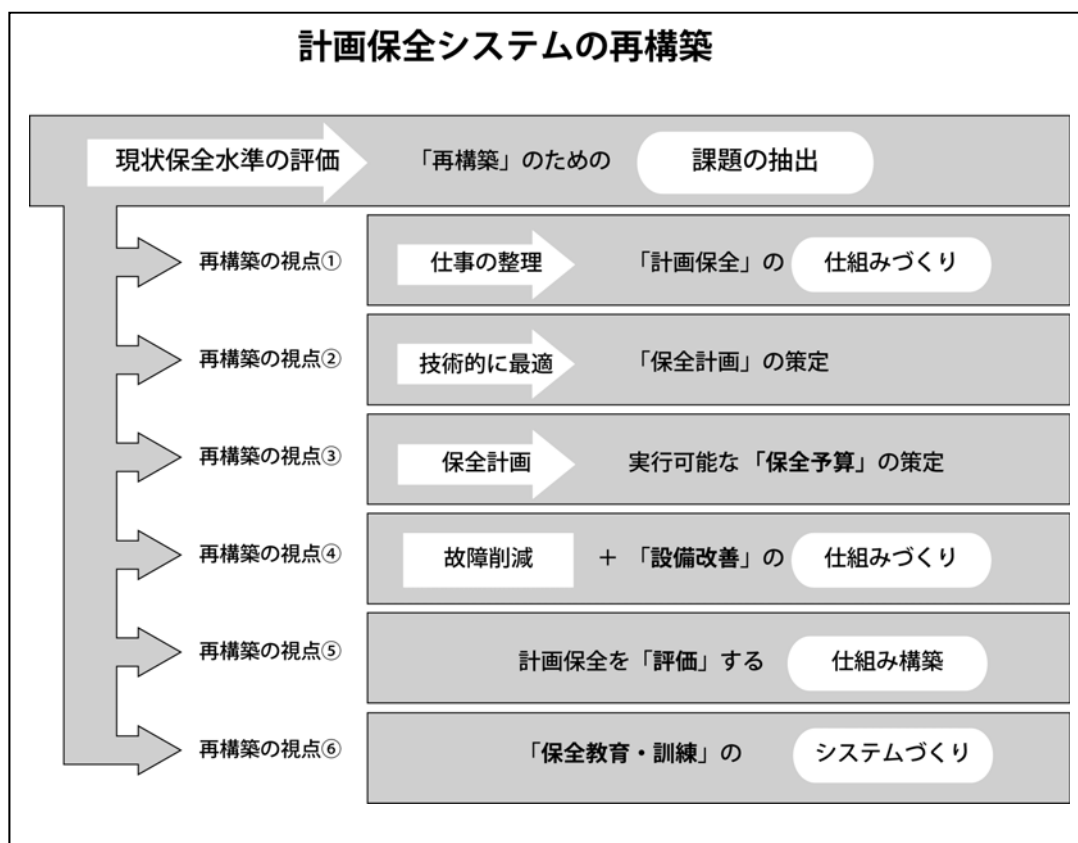
公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

－故障を起こさせない計画保全体制にする「仕組みの改善」を－

「故障を起こさない保全」の仕組みに転換していくためには、計画主導の「プロアクティブ保全」へと”発想を転換”する必要があります。大事なことは、「現状の仕組みを活かしつつ」、以下の計画保全システムの【再構築の視点】に従い、再構築を着実に進めていくことと考えます。

そこで、当会専門家が貴所**現地の現状評価**を行い（「**現地診断**」）、**問題点と具体的な課題を提示する**プログラムをご提案申しあげます。

- 【再構築の視点1】 仕事を整理し、計画保全の仕組みづくり
- 【再構築の視点2】 技術的に最適な保全計画の策定
- 【再構築の視点3】 保全計画に基づき実行可能な保全予算の策定
- 【再構築の視点4】 故障削減と設備改善の仕組みづくり
- 【再構築の視点5】 計画保全を評価する仕組みの構築
- 【再構築の視点6】 保全教育・訓練のシステムづくり



1. 専門家による「現地診断」

JIPM の「保全水準評価」専門家が、現地で貴所の「保全水準評価」を行い、強み・弱みを見出し、課題解決の方向性をレポートします。

*全社的な取組みを目指した評価体制を構築するために、「保全水準評価プログラム」の5段階評価に基づく『MOSMS 診断』を推奨していますが、その”前哨戦”として限定的な取組みとして「現地診断」をご提供しています。

(1) 概要

- ①対象：貴所のモデルプラント一箇所
- ②診断期間：1日（6時間目安）
- ③評価内容：MOSMS 診断項目を背景として、とくに重要な項目を視点とした現地実態およびヒアリング調査
- ④レポート：③に基づき「再構築の視点」をご提案します
- ⑤費用：現地診断およびレポート：864,000円（診断一箇所、消費税8%時点での計算です）
*移動費、宿泊費は別途実費ご請求させていただきます。

<備考>

- ・当会の診断・支援事業は当会会員企業に向け実施しています。実施の際は、当会ご入会手続きをいただきます
- ・当会の診断・支援事業は、貴社・貴所の詳細な情報に触れるため、守秘義務契約に基づき実施されます
- ・守秘義務契約は、貴社・貴所と当会の業務委託契約として締結する項目に含まれます

(2) 「現地診断」の詳細

上記③の詳細は、下記のとおりです。

(a) 診断の「視点」

2008年より実施して効果をあげてきた「MOSMS 診断」および中堅企業の「保全水準評価」の実績を背景としています。

JIPM 専門診断員は、下記の「視点」で現地実態およびヒアリング調査を行い、水準を4段階で評価いたします。

- ・組織・予算
- ・保全計画
- ・保全実行
- ・保全評価
- ・保全資料
- ・報告・レビュー
- ・設計と保全
- ・運転保全
- ・人財育成

(b) ”普段着のまま”で

MOSMS の保全水準評価は、ISO 監査とは違います。つまり、「事前にたくさん準備をして臨む」ものではありません！

現状の「仕組み力」を評価しますから、普段着のまま気軽に評価を受けていただきます。

(3) 診断後のレポート内容

(a) 「仕組み力」のレーダーチャート表示

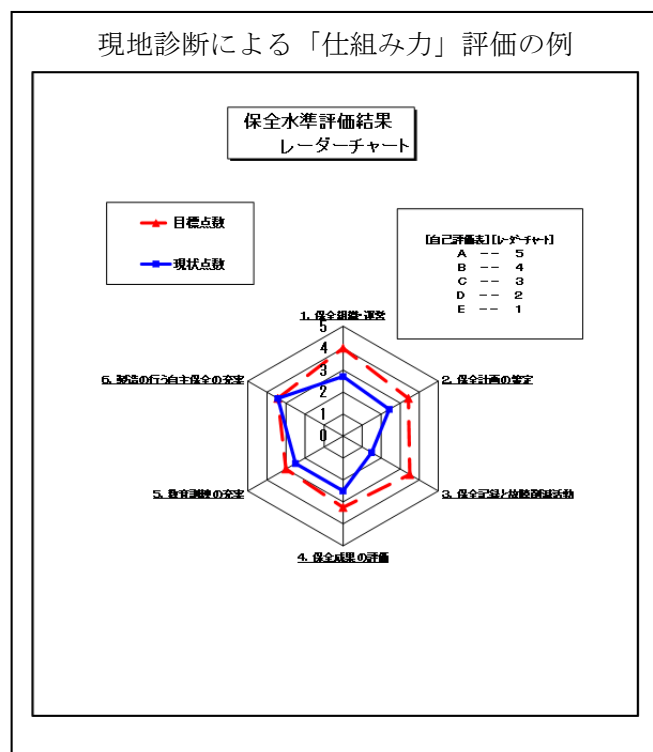
現地診断の「視点」から、現在の保全の「仕組み力」を表示します

(b) 診断者のコメント

各項目に対し、気が付いた具体的な点を診断者がコメントします。

(例)

現地診断の「視点」として、「保全計画の策定・保全方式の設定」に対しては、修理、整備方式の明確化がなされているか（保全対象設備毎に修理、整備方式を設定し、技術的根拠を文書化しているか等）を診ています。また、その文書のとおりに行われ“続けているか”、またその見直しが行われているか等を診ています。それらの点から、とくに気をつけるべき点をコメントします。



(c) 「仕組み」に表れる貴所の強み・弱みと、解決すべき「課題」

上記より貴所の強み・弱みと、解決すべき「課題」を整理し、下記の視点の中で優先度が高い項目に関し「仕組みの再構築」をご提案します。

- 【再構築の視点1】 仕事を整理し、計画保全の仕組みづくり
- 【再構築の視点2】 技術的に最適な保全計画の策定
- 【再構築の視点3】 保全計画に基づき実行可能な保全予算の策定
- 【再構築の視点4】 故障削減と設備改善の仕組みづくり
- 【再構築の視点5】 計画保全を評価する仕組みの構築
- 【再構築の視点6】 保全教育・訓練のシステムづくり

2. 再構築の支援

現地診断の後、現地診断結果と貴所のニーズに基づき、「仕組みの再構築」に対する支援が必要な場合は、別途支援プログラムをご提案いたします。

3. 「現地診断」の進め方イメージ

下記は、「現地診断」を実施する場合のイメージ(事例)です。

(1)ご参加いただく方

- ①貴社設備管理の責任者
- ②機械系責任者
- ③電計系責任者
- ④生産責任者

★経営層：方針をお聞きいたします

*本社のキーマン：全社展開を考慮している場合

(2)事前に準備いただく資料

<生産と設備管理の概要に関する資料>

- ①貴所の概要
 - ・組織図
 - ・生產品目
 - ・フローシート（生産の大まかな流れ図と設備の状況）
 - ・配置図
- ②計画保全の業務範囲と組織図

<保全実務に関わる資料>：現在あるものを揃えていただければ結構です

- ・オーバーホールの計画・記録
- ・故障数の推移
- ・故障対策の記録
- ・設備改善の記録
- ・点検基準や点検記録
- ・保全業務委託の内容と記録
- ・保全業務委託に関する管理・報告資料
- ・労働災害件数・推移
- ・設備管理・保全に関する標準類、マニュアルなどのリスト
- ・保全予算管理に関する記録等

(3)当日スケジュールのイメージ

次ページにイメージを掲載します。

現状に合わせ、適宜変更しつつ無理なく且つ効果的に進めます。

なお、「現場視察」も含めて、全体に、「“ありのまま”を相談する」イメージで臨んでください。

4. お申込みから診断および支援の流れ

「現地診断」から計画保全の構築支援の流れは下記ようになります。

項目	貴社・貴所	JIPM専門診断員(および指導員)	日程	追記	費用(消費税8%込みで記載)	備考
0. 貴社の当会会員ご登録 貴社とJIPMとの契約書の締結	○			会員登録 実証研究契約	(年会費・登録費)	
1. 診断対象工場(ライン)の選定	○					
専門診断:2日 2. 選定工場の『現地診断』(1箇所)	○	◎		現地診断 ・診断は1箇所1日です ・結果レポートは、約10日程度のお時間をいただきます	864,000円	・現地でのヒアリングを主体とします
・診断結果報告書ご提出		◎				
*「報告会」を行う場合	○	◎	半日	ご希望の場合	(216,000円)	診断結果報告書の内容と、今後のご提案
ご参考 * 計画保全の構築支援	○	◎	1日	診断結果後のご提案となります		

0. お申込みはメール等で貴社と当会で同意した上で、診断についての業務委託契約を締結し実施いたします。

1. 貴社では診断対象の工場を選定いただきます。

2. いよいよ「現地診断」となります。診断には当会診断員が伺います。当日スケジュールのイメージは全ページのとおりです。

なお、診断結果のレポート作成には10日ほどのお時間をいただきます。とくにご指定がなければ、印刷可能なpdfファイルでご報告をいたします。

3. 「報告会」はオプションですが、ほとんどのケースで実施されています。約半日です。

なお、計画保全構築の支援(コンサル)をイメージした「報告会」の場合は、今後の展開を含め、できるだけ多くの参加者(経営陣を含む)が望ましいといえます。

以上

【ご連絡】

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

調査研究・広報部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFIIIビル5階

Tel: 03-6865-6081

e-mail: rd@jipm.or.jp

MOSMS 専用 Web サイト: <http://www.mosms.jp/>